

# 公共交通機関内でのベビーカー動線確保装置

## 目 概要

公共交通機関内にて、ドア前だけに過度に集まったり座席に座る際足を組んだり投げ出したりしてベビーカーの動線を妨げているケースが散見される。

しかし、これに各自が声掛けをした場合逆恨みによりトラブルが発生する危険性がある。

そこで少子高齢化の折人手不足であることを勘案し、人手をかけずにシステム上で声掛けをするシステムを提案する。

それが「公共交通機関内動線確保装置」である。

公共交通機関の天井部にカメラとソニックレシーバが搭載されており、動線を妨げている対象人物をカメラと連動したAIにて検出する。

対象人物が移動および足組み投げ出しの修正が可能であると判断された場合、ソニックレシーバより超音波を飛ばし頭部骨伝導にて移動および修正を声掛けする。

カメラ画像をAIにて検出および移動可能判定や姿勢把握が必要なため、既存の電車内カメラをクラウドAIにて処理することもできるが

即応性を考慮しエッジAIカメラシステムを使用するのが望ましい。

万が一声掛けした結果移動および修正がされない、もしくは暴力行動を起こす場合は対象人物へ超音波による頭部への思考攪乱を行うことも可能。

その際は鉄道警察隊と連携し対処ができるよう次駅へアラートを発報も同時になされる。

📄 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

📄 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

📄 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

📄 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

📄 実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

📄 課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

📄 期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください



未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください